



# 美しい郷へGO!!

美しい郷発 第12号

平成22年3月12日発行

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議  
環境ニュース部会

TEL 0238 (85) 6131

FAX 0238 (85) 5275

荒砥小母親委員会・荒砥地区公民館共催

## 楽しく エコクッキング



2月20日、荒砥小学校母親委員会と荒砥地区公民館の共催で、初めて「エコクッキング教室」が同館で行なわれました。30名ほどの親子が参加され、美しい郷づくり推進会議の委員が講師となってパワーポイントを使った『台所から“エコ”を考えてみよう』の話を行いました。母親の皆さんは、食材を無駄にしない“白菜をまるごと使った料理”を、子どもたちは炊飯器を使って焼く“スイートポテト”を作りました。また子どもたちは、「エコかるた」取りをしながらたのしく環境のことも学習しました。

エコ・クッキングとは、“食の省エネ”  
「買い物」「保存」「調理」「片づけ」「ごみ出し」  
のとき、“エコ”のこと、考えながら…

身近な食材を、ひと工夫することによって色々な味が楽しめ、なるべくごみを出さないコツや片付け方のポイント、環境とお財布にやさしい知恵を学びました。

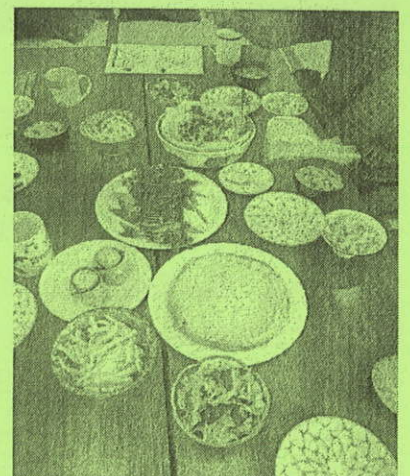


旬のものは、栄養たっぷり!!  
暑い時は体を冷やし、寒い時は  
体を温めてくれる食材。  
おまかせ、お安い!!



### お母さんたちの感想

- ・ 親と同居していないので、色々教えてもらって参考になった。
- ・ 生ごみを少なくする方法が分かってとても良かった。
- ・ 簡単に作れてとてもおいしかった。
- ・ 白菜をまるごと使った料理のほかにも、キャベツや大根・かぼちゃの料理を教えてください。



小中学校や子ども育成会の親子行事などで“エコクッキング”をしてみませんか?  
詳しくは、白鷹町美しい郷づくり推進会議事務局まで (町民課から環境係 85-6131)

## 日本のエネルギー自給率を上げるのは“地方から”

～ 環境講演会より ～

2月27日(土)「環境から取り組む 地方と地球の再生」と題して、文化交流センター“あゆむ”を会場に環境講演会が行なわれました。講師の三浦秀一氏(東北芸工大・准教授)の講演の中で、これから世界に起こる確実なことは、「人口の増加」「エネルギー不足」「食料不足」。特に、日本のエネルギー自給率は、食料自給率40%よりはるかに低い4%に過ぎないことの危機感を強く言っておられました。石油の輸入により、私たちの生活は便利で豊かになりましたが、石油の枯渇が心配されます。

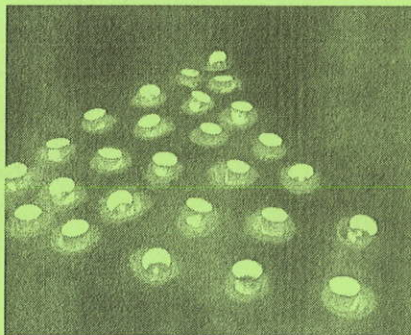
10年、20年後を見据えてCO<sub>2</sub>を出さないエネルギーとして、太陽の熱や光、風力や水力、そしてバイオマスなどの自然エネルギーが期待されています。わが町白鷹の森林や農耕地を生かすことが、“地方と地球の再生”につながるのだと学びました。



## 1,500個の エコキャンドルを灯して

～“十王雪まつり”より～

2月7日夕方、十王の山狭グランドでエコキャンドル(廃食用油からつくられたろうそく)を使ったキャンドルナイトが行われました。1,500個のキャンドルに火が灯され、二重三重のハートマークにかたどられたやわらかな灯りに、会場はほのぼのとした雰囲気になりました。



幻想的な灯りは、人の心に何かをおとし、心を穏やかにするものだなと思わずにはいられませんでした。

それぞれに輝くキャンドルたち

## 江戸庶民に学ぶ ぞの!

### 買い物にはマイバックを

江戸庶民の買い物スタイルは、「量り売り」があたりまえでした。しょう油や油を買うときは容器を持参していました。

スーパーなどで(買い物すると)もらうレジ袋の消費を減らすよう、どのお店でも“マイバックやふるしきを持っていきます”と言っておいに活用しましょう。



## 「バイオマス環境施設視察研修」を終えて

1月21日(木)山形県環境保全協議会主催の「バイオマス環境施設視察研修」に、白鷹町からは4名が参加し2ヶ所を見学しました。<sup>見学先1</sup>やまがたグリーンパワー(株)村山市は、間伐材や果樹剪定枝等の木質チップを使って、ガスを発生させエンジンを回して1,770kw/日発電しており、副産物の木タールは重油の代替燃料として木灰は果樹農家の肥料として販売。全国でも数少ないグリーン電力証書事業所です。<sup>見学先2</sup>バイオソリットエナジー(株)新庄市は、公共下水道処理等から発生する汚泥(含水率80%)を木質チップを燃やして含水率8%の固形燃料を生成。石炭ボイラー等の補助燃料として使用され、循環型社会の形成と地球温暖化防止に貢献している事業所です。

2つの事業所を見学して、山形の特徴を生かした環境にやさしい事業であると感心しました。白鷹町でも、行政＝事業者＝住民の共創で白鷹らしい循環型社会を創り上げることを望みます。(いの)